



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月7日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5210 URL http://www.yamamura.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山村 幸治
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐貫 正義 TEL 06-4300-6000
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	18,617	5.1	△330	—	△221	—	△384	—
26年3月期第1四半期	17,706	△8.8	301	△31.3	434	△29.4	2,803	586.4

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △1,165百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 4,593百万円 (215.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△3.66	—
26年3月期第1四半期	26.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	97,833	51,207	51.8
26年3月期	98,273	52,605	52.9

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 50,655百万円 26年3月期 51,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,000	6.3	200	△51.9	300	△58.1	200	△86.3	1.90
通期	74,000	2.9	200	—	600	—	300	—	2.86

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料] 3 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	111,452,494株	26年3月期	111,452,494株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	6,458,154株	26年3月期	6,456,997株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	104,994,841株	26年3月期1Q	105,009,480株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、個人消費は消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が見られるものの、デフレからの脱却を確実なものとするための政府による経済政策や日本銀行の大規模な金融緩和政策の継続により、企業収益環境や雇用情勢の改善が見られ、緩やかな回復基調で推移しました。

このような中、当社グループでは当連結会計年度より新中期経営計画3ヵ年をスタートさせました。前中期経営計画のビジョンである「世界のYAMAMURAへ 一心と技術を伝えたい」は継承し、100周年を超えて持続的成長を維持するために、アジアそして世界に誇れる“YAMAMURA”ブランドの確立を目指し、引き続き「事業構造改革」と「企業風土改革」の二つの改革を進めてまいります。

この中期経営計画を着実に遂行することにより、山村グループ一体となって早期の業績改善に向けて取り組んでいく所存であります。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

①ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業では、前連結会計年度に連結子会社化した中国の秦皇島方圓包装玻璃有限公司の売上が寄与したことや国内ドリンク場の出荷量が大幅に増加したこと等により、前年同期比103.2%となり、セグメント売上高は12,059百万円（前年同期比11.1%増）と増収となりました。労務費、外注費等のコスト削減を推進しましたが、秦皇島方圓包装玻璃有限公司が損失を計上したこともあり、セグメント利益は△467百万円（前年同期は32百万円）と大きな損失となりました。

②プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、ペットボトルの出荷量が大きく減少したことにより、セグメント売上高は2,714百万円（前年同期比4.9%減）と減収となりました。当社プラスチックカンパニーにおいては、原料価格の高騰やペットボトルの生産調整に伴う固定費負担の増加等がありました。しかし、減価償却費の減少、経費や労務費等のコスト削減に注力した結果、利益を計上しました。しかし、海外子会社においては、出荷量が前年同期を下回り、生産調整によって固定費が負担となり、セグメント利益は21百万円（前年同期比70.8%減）と減益となりました。

③物流関連事業

物流関連事業では、積極的な新規開拓を行う一方で、収益性の悪い営業所の閉鎖等に注力したため、セグメント売上高は2,734百万円（前年同期比10.0%減）と減収となりました。セグメント利益は、顕著化した都市部での人手不足による人件費の高騰や燃料費の高止まりによる輸送コストアップ等、主要なコストの上昇が利益を圧迫し、33百万円（前年同期比61.2%減）と減益となりました。

④ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、光関連部品を中心に事業展開している山村フォトニクス株式会社が、世界的な高速大容量のデータ通信ニーズの高まりもあり、主力製品である光通信部品を中心に出荷増となり、前連結会計年度に引き続き堅調に推移しました。また、当社ニューガラスカンパニーの電子部品用粉末ガラスは、主にスマートフォン、タブレット端末用が出荷増となったことに加え、太陽電池用粉末ガラス、自動車部品用粉末ガラスの需要もあり、出荷増となりました。その結果、セグメント売上高は1,109百万円（前年同期比15.6%増）と増収となりました。セグメント利益は、生産効率の改善やコスト削減を進めたことにより、101百万円（前年同期比331.0%増）と大幅な増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は18,617百万円（前年同期比5.1%増）と増収となりましたが、連結営業利益は△330百万円（前年同期は301百万円）と大幅な減益となりました。また、持分法による投資利益は113百万円（前年同期比52.8%減）となり、連結経常利益は△221百万円（前年同期は434百万円）と大幅な減益となりました。その結果、連結四半期純利益は△384百万円（前年同期は2,803百万円）と大幅な減益となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期における第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、平成26年5月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取り扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が129百万円、退職給付に係る負債が74百万円増加し、利益剰余金が35百万円増加しております。

また、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失および税金等調整前四半期純損失への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,853	8,652
受取手形及び売掛金	19,815	21,000
商品及び製品	7,775	7,247
仕掛品	397	347
原材料及び貯蔵品	2,616	2,465
その他	2,031	1,880
貸倒引当金	△11	△10
流動資産合計	41,477	41,583
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,272	8,212
機械装置及び運搬具（純額）	7,355	7,123
工具、器具及び備品（純額）	708	709
土地	10,471	10,471
建設仮勘定	462	454
有形固定資産合計	27,270	26,972
無形固定資産		
のれん	2,048	1,923
その他	1,766	1,674
無形固定資産合計	3,814	3,598
投資その他の資産		
投資有価証券	3,826	4,004
関係会社株式	19,401	18,932
退職給付に係る資産	541	832
その他	1,984	1,945
貸倒引当金	△43	△36
投資その他の資産合計	25,710	25,678
固定資産合計	56,795	56,249
資産合計	98,273	97,833

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,147	9,930
短期借入金	9,835	9,886
未払法人税等	133	122
賞与引当金	478	273
役員賞与引当金	13	6
事業構造改善引当金	1,235	1,094
資産除去債務	97	97
その他	3,507	3,945
流動負債合計	24,448	25,357
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	15,165	15,165
環境対策引当金	168	162
退職給付に係る負債	3,140	3,229
その他	1,743	1,711
固定負債合計	21,218	21,268
負債合計	45,667	46,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	17,300	17,300
利益剰余金	22,093	21,480
自己株式	△1,225	△1,225
株主資本合計	52,243	51,630
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	884	998
繰延ヘッジ損益	△102	△97
為替換算調整勘定	△95	△943
退職給付に係る調整累計額	△953	△932
その他の包括利益累計額合計	△267	△975
少数株主持分	629	552
純資産合計	52,605	51,207
負債純資産合計	98,273	97,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	17,706	18,617
売上原価	14,658	15,752
売上総利益	3,047	2,865
販売費及び一般管理費	2,746	3,195
営業利益又は営業損失(△)	301	△330
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	44	49
持分法による投資利益	241	113
その他	56	135
営業外収益合計	343	300
営業外費用		
支払利息	77	106
支払手数料	72	1
租税公課	29	40
その他	30	41
営業外費用合計	210	191
経常利益又は経常損失(△)	434	△221
特別利益		
固定資産売却益	—	8
特別修繕引当金戻入額	3,541	—
特別利益合計	3,541	8
特別損失		
固定資産廃棄損	2	29
特別損失合計	2	29
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,973	△242
法人税、住民税及び事業税	331	125
法人税等調整額	836	64
法人税等合計	1,167	190
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	2,805	△433
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2	△48
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,803	△384

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	2,805	△433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	141	114
繰延ヘッジ損益	11	5
為替換算調整勘定	116	△279
退職給付に係る調整額	-	11
持分法適用会社に対する持分相当額	1,518	△583
その他の包括利益合計	1,787	△732
四半期包括利益	4,593	△1,165
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,591	△1,092
少数株主に係る四半期包括利益	2	△73

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,852	2,854	3,039	960	17,706	—	17,706
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	478	2,880	1	3,360	△3,360	—
計	10,852	3,332	5,920	961	21,067	△3,360	17,706
セグメント利益	32	72	86	23	215	85	301

(注) 1. セグメント利益の調整額85百万円には、セグメント間取引消去33百万円、その他の調整52百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,059	2,714	2,734	1,109	18,617	—	18,617
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	393	2,985	1	3,380	△3,380	—
計	12,059	3,107	5,719	1,111	21,998	△3,380	18,617
セグメント利益 又は損失(△)	△467	21	33	101	△311	△18	△330

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△18百万円には、セグメント間取引消去32百万円、その他の調整△50百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。